

## 【琴路神社年間主要祭礼について】

【歳旦祭】 1月 1日

元旦祭とも呼ばれ、年始にあたり1年の繁栄・振興・発展・安全・安泰を祈念し、日本国・皇室・国民が新しい年を大過なく過ごす事が出来るようにお祈りします。

【元始祭】 1月 3日

元始祭とは年頭にあたり、皇位の始まりを壽ぎ日本国と皇位の無窮を祈念すると共に世界の平和と国内の平穩をお祈りします。

\*皇位とは、天皇の地位をいいます。

【建国祭】 2月11日

皇紀元年（西暦 紀元前660年）1月1日に神武天皇が初代天皇として皇位に着かれた故事にちなみ、往事を忍び日本国が成立した日を御祝いするとともに日本国の更なる発展と平穩をお祈りします。

\*明治期に旧暦の1月1日を新暦に置き換え、2月11日とされました。

【天長祭】 2月23日

今上陛下のお誕生日に当たり、聖壽の弥栄と日本国・皇室の繁栄をお祈りします。

\*かつては天長節と称され、皇后陛下のお誕生日は地久節と称されました。

【祈年祭】 3月25日

祈年祭とは、水温む春3月に行われる祭礼で、国家・皇室の繁栄と安泰、農業を始め、商業・工業等諸産業の発展、地域の振興と国民全ての息災と幸せをお祈りする祭の事で、当神社では毎年25日に行われています。

この祭礼は、12月に行われる新嘗祭と対をなすものです。

\*「年」とは、「稲」を意味しています

\*「きねんさい」は別称を「としごいのまつり」とも言います。

【昭和祭】 4月29日

昭和天皇のお誕生日にあたり、60有余年の長きに亘り御在位にあられ、激動の昭和という時代の中で国民に寄り添いつつ日本国を導かれた御聖徳を偲ぶと共に、私たちが道を踏み違える事なく暮らしを正しくし、日本国の将来が平和に発展するようにお祈りします。

## 【厄日祭（通夜・とおや）】

8月31日・9月10日・9月20日

立春から数えて210日目に当たる前夜又は当日の夜8月31日に行われている祭礼で、他の地方や神社では風日（かざび）・風鎮祭（ふうちんさい）等と言うところもあります。昔から210日頃には大風（台風）が多いことから、風よけ・風鎮めのお祭りをおこなってきました。稲を始めいろいろな農作物を強い雨風から守っていただくよう又秋には豊作となるようお願いをするお祭りで、地元の郷土芸能である鉦や笛・太鼓で奏される浮立が奉納され、とても賑やかな祭です。

\*「通夜」という字をあてる理由は、かつて31日の夕刻から翌朝迄各地区がかわるがわりに浮立を奉納し「夜を通して、浮立を奉納する」ことからきていると言われています。

\*浮立は鉦（かね）を使った鉦浮立と、掛け声をかけながら大小の太鼓を打ち鳴らす一声浮立（皮浮立）があります。

現在でも1番通夜には氏子区域内から17区程、浮立の奉納があります。

\*8月31日1番通夜、9月10日2番通夜には浮立の奉納、9月20日3番通夜には当番地区による踊りの奉納があります。

\*3回の祭礼を行う理由は、品種によって稲の花の咲く時期が異なるため、1番通夜の頃は早稲品種・2番通夜の頃は中手品種・3番通夜の頃は晩稲（おくて）品種それぞれの開花時期に合わせてあるからと言われています。

## 【神幸祭】

11月2・3日

神幸祭とは、神社の御祭神の神霊を御神輿にお遷しし、氏子区域内の様子を御覧頂く神事です。

1年に1度境内の外へお出ましになった神様は、この1年間で氏子地域がどのように発展したのか、現在の氏子の人達の暮らし向きがどの様であるかを御覧になり、日頃神社にお参り出来にくい方々を含め参拝された方々に御加護を授けられます。

\*行列の先頭には先導とお祓いを兼ねた獅子舞と剣突（けんつき）がつきます。

\*行列は威儀物（いぎもの）と呼ばれる弓矢、ヤリ、楯、日傘、雨傘、幟等で構成され多くの人達の協力で行われます。

\*中宮としての琴路宮（ことじぐう）、下宮としての新宮神社（しんみやじんじゃ・2日の夜に一晚鎮まられる）を巡ります。

\*3日夕刻、還御に先立ち「馬駆神事」が行われます。この特殊神事は、鳥居を挟み還御を控えた赤禪の神輿と馬が対峙し、互いに掛けあいを行いながら御神輿を収め馬は社殿を駆け回ります。勇壮な神事は、神様に喜んで頂いたりお慰めしたりする意味があります。

## 【例大祭】

11月3日

この祭典は1年のうちで行われる数々の祭典の中で1番重要なものです。

多くの神社では御鎮座日を御縁日として例大祭を行います。当社の由緒では御鎮座は「11月の中の卯の日」となっており、例年11月3日に斎行致しております。

日頃御加護を頂いている神様に感謝を申し上げ、御神慮をお慰め申し上げるとともに日本国・皇室の繁栄と安泰、氏子・崇敬者の幸福と平穏無事・地域の発展等を祈るものです。当日は奉納剣道大会が、地元明倫小学校体育館にて開催されます。

**【神嘗祭当日祭】** 10月17日

新穀を天照大神に奉り収穫を御報告するとともに感謝申しあげる祭礼を神嘗祭と称します。神宮にて奉仕される神嘗祭当日に、全国の神社にて御報告を兼ね同様の祭礼を奉仕します。

**【新嘗祭】** 12月17日

新嘗祭とは三月に行う祈年祭に相對するもので、その年に穫れた新穀を神前に奉り1年間の神恩のしるしである繁栄・安泰・豊穰・振興・発展等に感謝を申し上げるものです。

\*新穀を献じ、神恩に感謝し、今年1年が無事終わる事をお互いに喜び讃え合い、祈年祭でお願いした事々のお礼を申し上げる祭りです。

**【除夜祭】** 12月31日

除夜祭とは、大晦日にあたり今年一年を神恩により無事終えられる事を感謝申し上げ、新年が更なる加護の元に良き年となるように祈念する一年の最後の祭です。

**【月次祭】** 元旦を除く毎月1・15日

月の初めと中半に、月内の日本国・皇室・国民の日々の繁栄と氏子・崇敬者の平穩を祈願致します。

**【その他の行事】**

◎皇居皇靈殿遙拝式

春分の日、秋分の日皇居内では宮中三殿の一つ・皇靈殿に鎮まれる歴代の天皇・皇后・皇親等の御霊をお祀りされるにあたり、全国の神社より皇居の方角へ向けて遙拝式が執り行われます。

\*遙拝式とは遠隔地にて行われる祭礼や行事に際し、当該方角へ向け拝礼を行う行事の事をいいます。

◎大祓式

1年を半年に分け、この期間に知らず知らずに身に付いた罪や穢れ等をお祓いする行事で、6月30日と12月31日に執り行います。